

News Release

株式会社山陰合同銀行

〒690-0062 島根県松江市魚町 10
TEL.0852-55-1000
https://www.gogin.co.jp

2023 年 4 月 21 日

「ごうぎんグリーンローン」契約締結のお知らせ

ごうぎんは、株式会社中商土地（以下「同社」）との間で「ごうぎんグリーンローン」の契約を締結しましたのでお知らせします。

「ごうぎんグリーンローン」は、環境面に配慮した事業用途にお使いみちを限定した融資で、本融資で取り組む事業が環境面へ与える影響を外部機関が評価するため、お取引先は自社の環境面への積極的な姿勢をステークホルダーに訴求することが可能となります。

当行は、お取引先の環境面での持続可能な経済活動と成長を促進することを目的に、本融資を積極的に取り組んでいくとともに、持続的な地域社会の実現に貢献する取り組みを進めてまいります。

記

1. 企業概要

企業名	株式会社中商土地（代表取締役 中居 士郎）
所在地	岡山県岡山市北区青江 1 丁目 13-53
主な事業	不動産賃貸事業、太陽光発電電力の売電事業

2. 本件の概要

契約日	2023 年 4 月 21 日
融資極度額	6 億 9 千万円
調達資金の用途	太陽光発電所（為本ソーラーパーク）新設資金 所在：岡山県勝田郡勝央町大字為本字庵ノ谷 1104-1 ほか
年間予想発電量	4,709,262.8kWh ※年間 2,566.5t の CO2 を削減見込

同社は、岡山県の実業家である中栄マリン株式会社の 100%子会社であり、2011 年に太陽光発電事業を開始し、岡山、兵庫、愛媛、宮崎、熊本の各県に合計 11 カ所（1,998kW）の発電所を保有しています。中栄マリン株式会社が環境に優しいクリーンエネルギーの事業比率を高める方針を打ち出しており、同社もそれに沿って環境理念と環境方針、リサイクル方針を策定しているなど、SDGs への取り組みを経営の中核としています。このたび、環境配慮融資に取り組むことで地域の課題解決に貢献したいという「ごうぎんグリーンローン」の趣旨に賛同いただき、グリーンローンフレームワーク（後掲）を作成し、契約締結に至りました。

なお、本件は株式会社格付投資情報センター（R&I）より、「グリーンローン原則 2023 年版^{*1}」および「環境省グリーンローンガイドライン 2022 年版^{*2}」において求められる項目について、基準を満たしているとの評価結果を取得しています。

【参考】 当行のサステナブルファイナンスの取り扱い

名称	ごうぎんサステナビリティ・リンク・ローン		ごうぎんグリーンローン(本件) ごうぎんソーシャルローン
	自行評価型	外部評価型	
資金使途	事業資金		環境面／社会面の改善を 目的とした事業資金
融資金額	5千万円以上		
融資利率	当行所定の条件 (目標の達成状況に応じて金利が変動)		当行所定の条件

※¹ グリーンローン原則 (Green Loan Principles: GLP) :

グリーンローン借入に関する自主的ガイドライン。GLPは、グリーンローン商品の開発を促進し、誠実性を維持するため、シンジケートローン市場で活動している主要な金融機関の代表から成る作業部会 (ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション (APLMA)、ローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション (LSTA)) によって2018年に策定され、その後逐次改訂が行われてきている。(環境省 HP を基に記載)

※² 環境省グリーンローンガイドライン :

グリーンローンの市場において国際的に広く認知されている GLP(グリーンローン原則)との整合性に配慮しつつ、借り手、貸し手、その他の関係機関の実務担当者がグリーンローンに係る具体的対応を検討する際に判断に迷う場合に参考とし得る、具体的対応の例や国内の特性に即した解釈を示した環境省策定のガイドライン。グリーンローンの環境改善効果に関する信頼性の確保と、借り手のコストや事務的負担の軽減との両立につなげ、国内におけるグリーンローンの普及を図ることを目的として策定された。(環境省 HP を基に記載)



以 上

グリーンローンフレームワーク

2023年4月14日

株式会社中商土地

岡山県岡山市北区青江 1 丁目 - 13 - 53

目次

1. はじめに.....	3
1-1. 借入人概要.....	3
1-2. CSR・ESGへの取り組み.....	3
1-3. グリーンローン借入の位置付け.....	3
2. 調達資金の使途.....	4
2-1. 資金充当予定のグリーンプロジェクト.....	4
2-2. 環境改善効果.....	4
2-3. ネガティブインパクト.....	4
2-4. 資金充当の予定.....	4
3. プロジェクトの評価および選定のプロセス.....	5
3-1. 環境面での目標.....	5
3-2. プロジェクトの評価・選定のプロセス.....	5
4-1. 調達資金の管理方法.....	5
4-2. 未充当資金の運用方法.....	5
4-3. 文書管理の方法.....	6
5. レポーティング方針.....	6
5-1. レポート方法.....	6
5-2. 開示内容.....	6
5-3. レポーティング体制.....	6
6. 外部レビュー方針.....	6

1. はじめに

1-1. 借入人概要

株式会社中商土地(以下当社)は、不動産賃貸業、太陽光発電事業、デザイン業、美容業(エステサロン)、飲食サービス業(洋食バル)を行っている。本社は岡山県岡山市。太陽光発電所は岡山県、兵庫県、愛媛県、宮崎県、熊本県に合計11カ所1,998KWを保有している。

今般、当社はグリーンローンによって資金を調達し、岡山県勝田郡勝央町にて太陽光発電所への投資を計画している。

1-2. CSR・ESGへの取り組み

<環境理念>

環境に配慮した企業活動の推進、発生廃棄物の削減又はリサイクル活動を推進、その他環境保護に寄与する活動を推進する。環境汚染、環境破壊を未然に防止するために予想される対策を推進する。

<環境方針>

再生可能エネルギーを通じた低炭素社会への貢献

環境に関する法令その他の社会的要請を正しく理解し遵守する

全従業員に環境方針の内容を周知徹底し、環境に関する意識の向上を図る

【リサイクル方針】 もったいない！でゴミ減らせ(廃棄物を削減します)

・ゴミは全て分別します

・資源ゴミはリサイクル

・いる物をいる時にいるだけしか買いません

<環境負荷低減への取り組み>

2011年より太陽光発電事業を開始、上記の通り太陽光発電所を複数設置し、再生可能エネルギーの普及に寄与している。

また、岡山市のグリーンカンパニー活動の認定(登録番号:第2257号)を受け、環境性能の高い(電気自動車)社用車を使用することにより排出ガスの低減に努めている。導入した社用車の電力は、本社屋上に設置している太陽光パネルにより自社発電し賄っている。

当社事務所内においては、照明のLED化と節電の徹底、適切な空調温度を設定し、クールビズ・ウォームビズを実施している。

1-3. グリーンローン借入の位置付け

グリーンローンによる調達資金は、岡山県勝田郡勝央町の太陽光発電所の開発費用として全額充当する。

2. 調達資金の用途

2-1. 資金充当予定のグリーンプロジェクト

本グリーンプロジェクトは、発電能力4,001.55KWの設備を導入し、4,709,262.8kWhの年間発電量を計画するものである。稼働を開始する2024年から約18年間、発電した全電力を中国電力へ売電する。

本借入による調達資金は、以下のプロジェクトに充当される予定である。

設備名	為本ソーラーパーク
総事業費	769,327,000円
仕様/能力	4,001.55KW
数量	モジュール7,210枚、パワコン32台
設置場所	岡山県勝田郡勝央町大字為本字庵ノ谷1104番地1 他
環境改善の効果	年間2,566.5tのCO2を削減

2-3. ネガティブインパクト

プロジェクトがもたらすと想定される環境リスクおよび主な環境保全措置は、以下の通りである。

想定される環境リスク	主な環境保全措置および評価
生態系への影響	本プロジェクトは岡山県森林課の林地開発許可を受けたものである。 森林伐採や土地造成において、林地の保全や水源の涵養、環境保全に十分に配慮した事業活動及び、当該地域・周辺地域での土石の流出、崩壊、その他災害へ十分配慮、関連法規に従った適正な措置を取っている。
設備投資実施における土壌・水質等への影響	工事請負建設会社等と連携を取り、関連法規を遵守した適切な措置と管理を行っている。

2-4. 資金充当の予定

本物件は2023年4月に投資予定であり、グリーンローンにより調達した資金は同年度中に全額充当する見込みである。

3. プロジェクトの評価および選定のプロセス

3-1. 環境面での目標

本借入の調達資金を充当するプロジェクトにより達成される「環境面での目標」(グリーンローンを通じて実現しようとする環境上のメリット)と関連する環境改善効果は、以下の通りである。

環境面での目標	環境改善効果
気候変動の防止	CO2排出量の削減

3-2. プロジェクトの評価・選定のプロセス

本プロジェクトの選定にあたって考慮・評価した基準は、当社が気候変動緩和のためのCO2排出量削減に貢献するための方法が確保できるかである。対象プロジェクト選定においては、当社代表取締役社長及び経営財務企画取締役及び担当者の複数名にて協議し最終決定を行うプロセスを取った。

プロジェクトの選定にあたっては上記の基準に加え、近隣住民等の太陽光発電事業に理解があり、継続的な運営が可能な地域であるかという点も考慮した。

4. 調達資金の管理方針

4-1. 調達資金の管理方法

貸付人である山陰合同銀行によるグリーンローンの前提条件の充足確認を経て、ローンが実行される。調達資金は対象プロジェクトである太陽光発電所の取得資金へ全額充当予定であり、未充当資金は発生しない見込みである。

本借入による調達資金の充当管理は、当社経営財務企画の担当者が複数名にて行う。本借入による調達資金総額、プロジェクトへの充当済資金、未充当資金は、電子ファイルにて管理する。

全ての調達資金が充当されるまでの間は、未充当額と充当額の合計が調達資金全額と整合するように管理し、これらの確認は当社から対象プロジェクトへの資金充当があった都度実施する。全ての調達資金が充当された後は、調達資金額が調達資金からプロジェクトへ充当された累計額と一致するよう、また、当社からプロジェクトへ充当された累計額が調達資金額を上回るように管理する。

4-2. 未充当資金の運用方法

コミットメントタームローンであり、コミットメント期間は必要な金額だけ資金の貸し出しを受けることが可能な仕組みとなっていることから基本的には未充当資金は発生しない。万が一発生した場合は現金または現金同等物、短期金融資産等で運用する。

4-3. 文書管理の方法

調達資金に関連する証憑となる文書等については、当社規定に基づき適切に管理する。

5. レポーティング方針

5-1. レポート方法

当社は、本借入による調達資金のプロジェクトに対する充当状況や環境改善効果等についての最新の情報を、以下のスケジュールでウェブサイトにて一般に開示する。また、本借入による全ての調達資金がプロジェクトに充当された後においても、大きな状況の変化が生じた場合は、適宜開示する。

- ①借入時レポート: 本借入が借入後に実施する。
- ②年度レポート: 本借入の償還までの間、1年に1度実施する。

5-2. 開示内容

レポートには以下の内容を含む予定である。環境改善効果の算定に当たっては、本フレームワークで定義し

た算定方法に則り、適切に実施する。

開示内容
・プロジェクトの概要(進捗状況を含む) ・プロジェクトに充当した資金の額 ・未充当資金の額又は割合、充当予定時期、未充当資金の運用方法 ・グリーンプロジェクトによる環境改善効果(CO2排出削減量)

5-3. レポーティング体制

借入時レポートおよび年度レポートは、経営財務企画の担当者が作成することとし、調達資金に関する情報収集・記載事項の確認、環境改善効果に関する情報収集・記載事項の確認を実施し、弊社のグループ会社である中栄マリン株式会社のホームページに掲載する。

6. 外部レビュー方針

当社は、本借入時に、本グリーンローンフレームワークがローン・マーケット協会(LMA)「グリーンローン原則2023」および環境省「グリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2022年版」に定められた要件と適合性を有しているかという観点から、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターより、セカンド・パーティーオピニオンを取得している。

以上